

ビーチスポーツの定着に関する研究 ～辻堂ビーチクラブの事業計画～

スポーツクラブマネジメントコース

5008A303-1 石井英一

研究指導教員： 間野義之准教授

○緒言

藤沢市は海に面した地理的環境にある。海という場を効果的に活用することで、市民にとって新たなスポーツ活動の場を提供することができるのではないかと考えられる。ビーチスポーツを主とした総合型地域スポーツクラブを設立することは、地域住民のスポーツ活動を選択する場を広げる。これによってスポーツに対する興味・関心が今までよりも高まるであろう。また、海辺のスポーツ施設や環境も整備されることで、さらなる地域発展の場となると考えられる。

海という環境資源がある神奈川県藤沢市において、ビーチスポーツを主とした総合型地域スポーツクラブを設立することは、人々がどこにいても気軽にスポーツを親しむことができる環境を作るために欠かせない存在になると言える。

○研究目的

本研究では、湘南・藤沢市辻堂地区を事例として、ビーチスポーツを主とした総合型地域スポーツクラブを継続的に運営していくための事業計画書を作成することを目的とする。

○研究方法

①辻堂地区の地域住民へのインタビュー調査

調査対象:辻堂海浜公園の地域住民、周辺小・中学校の児童と保護者

調査項目:スポーツの実施頻度、クラブで行いたいビーチスポーツ

②自治体の担当者へのインタビュー調査

調査対象:藤沢市役所のスポーツ担当者

調査項目:当該自治体のスポーツ政策、今後のスポーツ関連予算の増減、総合型スポーツクラブへの具体的な協力体制、湘南地区の海辺の活用方法

③周辺クラブの従業員へのインタビュー調査

調査対象:辻堂海浜公園の周辺クラブの従業員

調査項目:経営方式、中心スポーツ、会員数、会員層

○結果

小学生 行いたいビーチスポーツ 1 番人気 ビーチサッカー(28.7%)、2 番人気 サーフィン・ボディボード(28.0%)

中学生 行いたいビーチスポーツ 1 番人気 サーフィン・ボディボード(30.6%)、2 番人気 ビーチバレー(16.8%)

高校生 行いたいビーチスポーツ 1 番人気 サーフィン・ボディボード(46.1%)、2 番人気 釣り(11.5%)

○事業計画

1. ミッションとビジョン

ミッション

- ・ビーチスポーツの普及発展、またビーチの活性化。
- ・ゴミ拾い等の社会活動を通じた環境問題の提言。
- ・子どもたちが自然と接することで危険回避能力を身に付け、事故防止に役立てる。

ビジョン

- ・水難事故が起こらない社会を目指す。
- ・環境問題における地域住民の意識改革。
- ・「命」「環境」「スポーツ」をテーマに、国内では例をみないビーチを主とした総合型地域スポーツクラブの発展を目指す。

2. 活動拠点

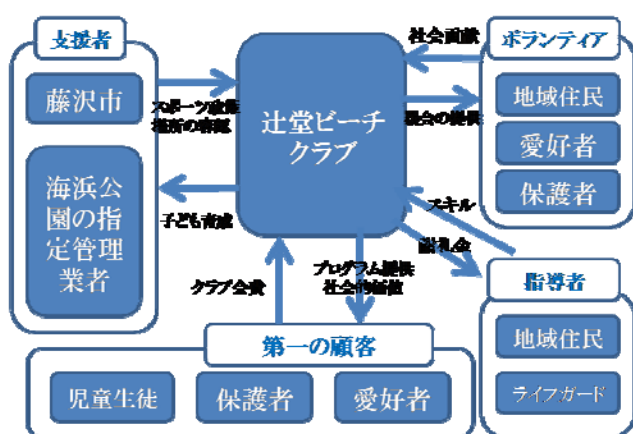
神奈川県藤沢市にある辻堂海浜公園と海浜公園前の海浜、潮見台公園を拠点にクラブ活動を行う。

3. 事業内容

- ・小学生～高校生を対象にしたビーチスポーツ教室。
- ・親子を対象にした親子ビーチスポーツ教室。
- ・大会・イベント事業の開催。

3年目にはシニアを対象に、5年目には幼児を対象に、10年目にはシルバーを対象にプログラム提供を検討中である。

4. 初年度のビジネスモデル



5. 商圏分析

分析する範囲を設定し商圏分析 (MapInfo Professional v8.0 を使用)を行った。商圏内の各項目の月謝平均額と構成比率の比較が明らかになった。

6. 3C 分析

インタビュー調査をもとに顧客分析、競合分析、SWOT 分析を行い、ニーズ調査を行った。

多種目、多世代で低料金なスポーツクラブは辻堂地区には存在していない。土地柄、海を好んだ人達が多く、ビーチスポーツにも非常に興味があることが明らかになった。

7. 有益プログラム

インタビュー結果より、小学生～高校生にはサーフィン・ボディボード教室やビーチサッカー・バレー教室のプログラムが有益ではないかと考える。

自然を相手にした活動であるためジュニアライフセービングプログラムを提供する。

* ジュニアライフセービングとは

海と親しみながら海辺の安全に関する知識や技術を身につけ、命の尊さや自然の大切さを学ぶ教室。波があればサーフィング。風が吹けばセーリング。天気がよければパドルリング。水がきれいならばシュノーケリングと、自然環境に応じてプログラム内容を変更していくプログラムである。

8. 事業収支計画

周辺スポーツクラブやインタビュー結果からクラブ会費を設定し、初年度から利益が得られる収支計画を作成する。3年後には安定化を図る。

9. リスクマネジメント

自然を相手にする活動であるため、突発的な事故が発生することが予測される。会員が安心してクラブ活動を楽しむためにはリスクマネジメントを徹底することが肝要である。安全マニュアルを作成し、スタッフ全員がこのマニュアルを正しく理解し、常に緊急時に備えられるよう意識しておく。

○今後のビーチスポーツを中心とした総合型スポーツクラブの在り方

本研究の結果からサーフィン・ボディボードやビーチバレー、ビーチサッカーなどを主としたプログラムが有益であることが考えられた。特にサーフィン・ボディボードは子どもだけではなく、親にも人気が高かった。このことから、優良なサーフィン・ボディボードプログラムを導入することで、家族全体を取り込め、需要が拡大する可能性が考えられた。ビーチバレーはオリンピック種目であり、メディアへの露出も大きくなっていることから、注目が集まっている。またビーチサッカーも最近では世界選手権も行われており、メディアへの露出も多く、人気上昇中のスポーツである。将来的には、クラブ独自の選手育成プログラム等を設けることで、さらに有益な商品になっていくと考えられた。

以上のことから、この3つのスポーツプログラムを充実させることが総合型地域スポーツクラブを運営していく上で重要であると考えられた。